

リッチー / バイクロア / 総合カタログ

RITCHEY Design Marketing Manager

Fergus Liam Tanaka 氏

水野学園 東京サイクルデザイン専門学校 訪問

▶アメリカのリッチーデザインでマーケティングから製品開発までを行うフォーガスさんが、ショップさん交流とバイクロアに参加などのため来日され、合間を縫って自転車の専門学校である水野学園 東京サイクルデザイン専門学校を訪問されました。学校ではトークセッションを行い、40年近いリッチーと日本の歴史を皆さんに話し、フォーガスさんからは皆さんにリッチーの物作りの具体的な話やその精神と近々の製品についてお話いただきました。

▶フォーガスさんは2022年トラックマスターズ世界戦ポイントレースで優勝され、2023年には「パリ〜プレスト〜パリ」を66時間で完走する熱心なサイクリストであり、トム・リッチー氏の右腕として設計にも拘る有能なスタッフ。最近日本でも発売した世界限定100台のトラック「GARDEN CITY」や長距離ライドの「MONTEBELLO」は、彼のトラックやスーパーロングライドでの経験をもとにトム・リッチーと設計したモデルとのこと。

▶トーク後には生徒の皆さんから活発な質問もあり、また学校の素晴らしい施設を見学され、フォーガスさんも日本の自転車文化がこのような若い皆さんとともに発展していくことを願っていました。



▲トム・リッチーが1986年頃に製作した貴重な名品「Annapurna アンナプルナ」を持つフォーガスさんと学校の皆さん。



▲トラックモデルの「Garden City ガーデンシティ」



▲現代版ランドナーと言える「Montebello モンテベロ」



▲活発な質問にも丁寧に答えるフォーガスさんには、若い生徒さんから直接英語での質問も複数あり、時間がいくらあっても足りない状況。



▲学校長の今野真一氏もトム・リッチーをリスペクトする一人



▲バイクロアの時にはKURUにも寄ってくれてはじけるフォーガスさん

秋ヶ瀬の森 バイクロア 14

SWEET or BITTER ARAKAWA GRAVEL

Presented by OnebyESU & KURU

街近く・・されど見慣れぬ姿の荒川、その河川敷を極上のグラベルロードで冒険する・・・バイクロアのグラベルサイクリングツアーを今年もサポートしました。スイートはファミリー参加可能なグラベルライド、ビターは荒川流域の未舗装を堪能する本格グラベルライド。初参加の殆どの方が驚かれる街近くの異空間グラベルロードが荒川河川敷にあります。そんな人知れない空間を熟知する「ArakawaOutback」スタッフがライドツアーを先導するバイクロアイベントを「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」の荒川沿線仲間として応援しています。



▲家族連れも楽しく参加できるスイートライド



▲途中に「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」のKURUでソフトクリームを食べられる設定。募集すぐに定員に達する人気ぶりでした。



▲写真はスイートライドでのショットですが、本格グラベルを秋ヶ瀬出発で堪能できるとあって健脚さんも満喫できる河川敷のグラベル区間。荒川河川敷のグラベルは隠れ名所と言えますね。



▲出展ブースでは晴天の中、ほぼ全ての試乗車を用意するとともにKURUグッズの販売も行い、多くの皆様に立ち寄っていただきました。会場とKURUをハシゴする方も多数。

東京サンエス総合カタログ VOL.31

社内で社員たちが殆どを制作する総合カタログも今回で31号となります。只今制作の最終段階、新年1月25日に発行され、同日開催の「2025 ハンドメイドバイシクル展」と「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」の「KURU/UX」で配布開始となります(KURU/UXは雨天時など休業、詳しくはKURUのX(旧Twitter)などで)。



▲多くのPCを並べて本社で取り組んでいます。一つ一つの積み重ねが200ページ近く、2000点以上の商品を網羅するカタログとして定着するに至っています。



▲撮影も社内で行いますが、自転車は7.5m以上離れたところから撮るのが理想とも言われていますので、パーツ撮影よりなるべく広い空間が必要になります。